

画像検査用 X-Yテーブル SDシリーズ

スムーズなXY移動により、効率的な検査が可能!
 回転機能を追加する事により(SD-2)局部検査能力が向上。

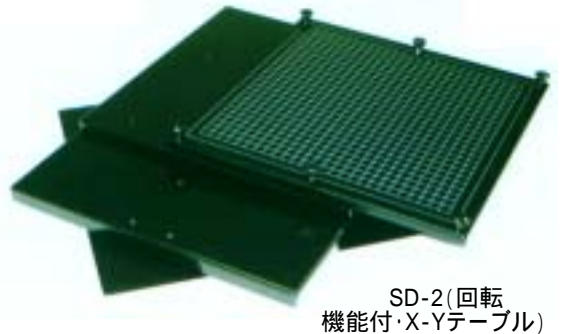
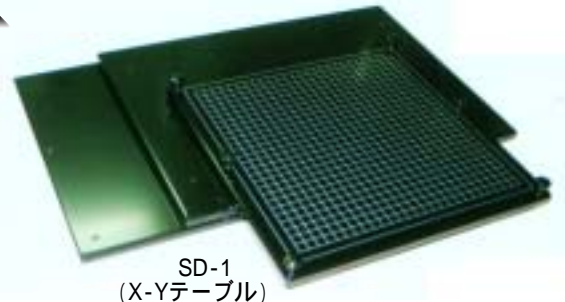
主な特徴

ワークをスムーズに移動させる事で目視検査の効率が向上

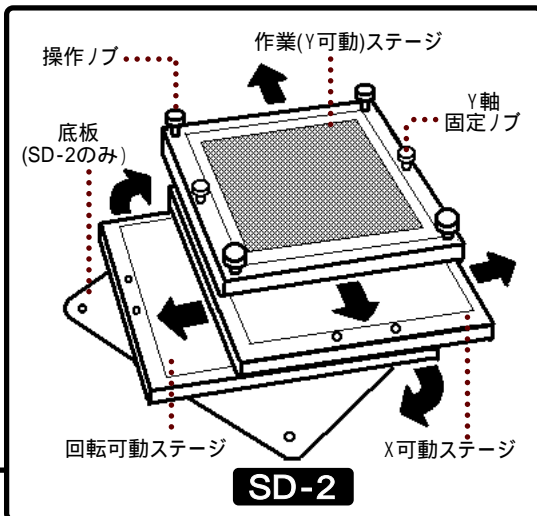
レンズとワークの距離を一定に保ったまま、順次検査箇所が視野に入るようワークをスムーズに移動させる事で検査タクトを上げ、作業者の眼精疲労を軽減します。

360度回転機能を追加(SD-2型)する事で局部検査能力が向上

回転機能(X-Y移動しながら)を付加する事でICのリード部など一定の角度からの観察では不良を検知しにくいポイントの検査効率を上げる事が可能となり、高密度実装基板の検査も効率化できます。



項目	型番	SD-1	SD-2
寸法		W410 x D310 x H35mm	W310 x D310 x H50mm
重量		6.5kg	7.5kg
X-Y可動距離		X: 330mm / Y=225mm	XYともに225mm
回転角度		-	360° (45° 毎刻み)
耐荷重		約1.5kg	



構造および機能概略

右図のように複数の角形ステージが重なった構造となっており、それぞれ独立した機構をもっています。作業ステージ上にあるY軸固定ノブを固定することにより、X方向のみに可動するよう設定する事ができます。作業ステージ上は碁盤状にレイアウトされており、ワークの位置合わせを簡単に行うことができます。360°回転機構(SD-2のみ)は45°ごとに固定できるよう、ステップ刻みが付いているため、傾斜角度からの側面検査が楽にできます。付属の専用治具により、裏面に部品が実装された基板にも対応します。

光学機器との組合せ(例)

立体ビューイングスコープ「マンティス・ユニバーサルタイプ」とSD-1の組み合わせによる3Dハンダ付不良検査システム



基板固定治具

強力マグネットにより作業テーブル上に固定。基板をテーブルから浮かせることができるため裏面に部品が実装されている両面実装基板の検査も可能。



(左) SDP16(標準付属品)
 基板を16mmの高さに浮かせて固定。
 (右) SDP22(オプション)
 基板を22mmの高さに浮かせて固定。
 <SDP16 / SDP22とも4個で1セット>

